

2024年6月27日

登録教習機関 各位

一般社団法人全国登録教習機関協会  
専務理事 佐々木 元茂

### 第1回 玉掛け技能講習（初任時）講師技能向上 研修開催のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当協会の実施する研修につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、標記研修の開催を下記により実施することといたしましたので、ご案内をいたします。

優れた内容と質の高い技能講習を受講者に提供することは、登録教習機関として重要なテーマであります。この研修は、新任講師（初任時）を対象として、講師の技能向上をめざしたものであるとともに、登録教習機関の教育方法の見直しや改善にも役立つものとしております。

なお、本研修の資料としております玉掛け技能講習実技指導要領テキストやDVD 補助教材は、貴機関での講師研修会等で実技指導の統一化のためにもご活用いただけるものと考えます。

#### 【この研修の主な内容】

##### ① 目的

- ・講師としての基礎的な知識と情報の入手
- ・学科／実技の教え方の習得と指導能力向上
- ・登録教習機関の講習内容の充実とレベル斉一化

##### ② 研修の内容

#### 【学科】・各種教育技法及びレッスンプランの作成

- ・メーカーの講師による最新技術情報把握
- ・受講者の講義演技と講習技術指導
- ・関係法令体系等の再確認と効果的な講習方法
- ・災害事例研究とリスクアセスメント演習

#### 【実技】・全登協「実技指導要領」に基づく効果的な指導方法

- ・実技採点方法、減点基準の通達の確認と採点演習
- ・グループ討議を通じて採点方法の再確認

## 記

1. 研修期間 2024年10月10日（木）9：00～17：00  
2024年10月11日（金）8：30～16：00
2. 開催場所 株式会社シグマ 東京クレーン学校  
〒124-0013 東京都葛飾区東立石 1-3-16  
TEL：03-3696-6009 FAX：03-3694-1670  
ホームページ：<https://heiwabashi.co.jp/crane/>
3. 定員 20名

4. 研修内容等 「カリキュラム」を参照ください。 別添 1.
5. 受講料 会員 40,000円(教材費、消費税を含む)  
非会員 65,000円(同上)
6. 申込方法及び問合せ先  
【申込方法】  
・当協会ホームページの開催案内に掲載している「入力フォーム」から必要事項を記入してお申し込みください。  
【申込期限】 2024年9月11日(水)  
・受講申込みの受付は先着順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。  
【申込み及び問合せ先】  
(一社)全国登録教習機関協会  
〒108-0014 東京都港区芝5-27-14 小川ビル 6F  
TEL:03-3456-4787 FAX:03-3456-1304  
E-mail: 担当: [z-ogawa@zentokyo.or.jp](mailto:z-ogawa@zentokyo.or.jp) (小川)
7. 宿泊、及び 宿泊場所からの研修場所への移動について  
宿泊が必要な方は 各自で 手配をお願いいたします。  
所定の時間までに 各自、研修場所にご参集ください。  
【ご参考】  
アクセス: 添付の2-1, -2の案内図を参照ください。  
・京成立石駅から徒歩 12分(約1km)  
または  
・平和橋自動車教習所の送迎バスがご利用いただけます。  
\*東京クレーン学校のホームページ(上記)から平和橋自動車教習所の送迎バス停留所、時刻表をご確認ください。  
宿泊先: 駅近隣のホテルは以下です。\*各自で手配していただきます。  
「サイプレスイン東京」 <https://www.cypresshotels.jp/tokyo/>  
・住所: 〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩1-2-5  
・TEL: 03-5671-3122 FAX: 03-5671-3124
8. 昼食  
・受講中の昼食は、各自手配の上 持ち込み下さい。近隣にはコンビニ等はありませんので ご注意ください。
9. 受講案内等の送付  
・原則として、開講日の約10日前を目途に、受講案内等をメールいたします。
10. 受講料の支払方法等  
・(適格) 請求書を発行(メール)いたします  
・受講料は、開催日の2週間前までに、下記の口座にお振込願います。  
振込先: みずほ銀行 芝支店 普通預金 口座番号 2890991  
口座名義 一般社団法人 全国登録教習機関協会  
シャゼ ノクワウキョウユヅカサヨウカイ  
① 都合により入金が遅れる場合はご連絡ください。  
② 銀行振込の場合は、振込金受領書をもって領収書に代えさせていただきます。なお、振込手数料はご負担願います。  
③ 申込内容等の変更(受講者の変更等)の場合には、当協会にご連絡ください。  
④ また、原則として開催日の1週間前以降のキャンセルに伴う参加費返納には応じかねますので、ご了承ください。  
(除く、当方の都合で中止・延期・他の研修への振替)

以上

| 研修項目              |  | 講師         | 研修時間               |
|-------------------|--|------------|--------------------|
| <b>第1日目(学科研修)</b> |  |            |                    |
| 1                 | 開講式及びオリエンテーション   | 事務局        | 9:00~ 9:10 (0:10)  |
| 2                 | 自己紹介   | 全員         | 9:10~ 9:30 (0:20)  |
| 3                 | トレーナーのための教え方   | 全登協        | 9:30~10:15 (0:45)  |
|                   | L1 教育技法とは何か  |            |                    |
|                   | L2 教育技法を使った学科講習の実施   |            |                    |
| 休 憩               |  |            | 10:15~10:25 (0:10) |
| 4                 | トレーナーのための教科目別-教え方・レッスンプランの作り方  | 同 上        | 10:25~11:45 (1:20) |
|                   | L3 教え方・レッスンプランの作成  |            |                    |
|                   | L4 教え方・レッスンプランの作成演習  |            |                    |
|                   | L5 レッスンプランの実施要領  |            |                    |
| 休 憩(昼食)           |  |            | 11:45~12:45 (1:00) |
| 5                 | 玉掛け用具等の専門知識  | メーカー講師     | 12:45~14:15 (1:30) |
|                   | ①玉掛け用具の新技術・新製品(つり具、荷役器具)について<br>②玉掛け用具の正しい取扱い、点検、整備、管理                                   |            |                    |
| 休 憩               |  |            | 14:15~14:25 (0:10) |
| 6                 | インストラクションの技術の向上(受講者による講義の演技)   | 全登協        | 14:25~15:25 (1:00) |
|                   | ①受講者が一人約5分程度(力学・法令等)演技を行う  |            |                    |
|                   | ②演技に対し受講者による講義演技の評価と情報交換   |            |                    |
|                   | ③インストラクターによる講評   |            |                    |
| 休 憩               |  |            | 15:25~15:30 (0:05) |
| 7                 | 関係法令・災害事例  | 全登協        | 15:30~17:00 (1:30) |
| <b>第2日目(実技研修)</b> |  |            |                    |
| 8                 | オリエンテーション  | 事務局        | 8:30~ 8:40 (0:10)  |
| 9                 | 実技研修 I (基本作業)  | 東京クレーン学校講師 | 8:40~10:10 (1:30)  |
|                   | ①玉掛け技能講習実施前の準備等について<br>つり荷、実機、玉掛け用具、講習場所   |            |                    |
|                   | ②玉掛け作業のための合図について   |            |                    |
|                   | ③講師による基本作業の模範演技  |            |                    |
|                   | ④数種の荷について、玉掛け方法を変えて(荷かけ、アイ掛け<br>巻上げ、ワイヤロープの張り、緩め、巻下げ、アイ外し、<br>荷外し)を繰り返す                  |            |                    |
| ⑤受講者による基本作業の演技    |  |            |                    |
| 休 憩               |  |            | 10:10~10:20 (0:10) |
| 10                | 実技研修 II (応用作業)   | 同 上        | 10:20~12:00 (1:40) |
|                   | ①講師による応用作業の模範演技<br>(質量確認、玉掛け用具の選定、荷のつり上げ、定められた<br>経路による運搬、定位置への荷下ろし)<br>②受講者による応用作業の演習   |            |                    |
| 休 憩(昼食)           |  |            | 12:00~12:50(0:50)  |
| 11                | 実技採点の進め方   | 同 上        | 12:50~13:50 (1:00) |
|                   | ①講師による通達及び全登協の「減点基準」の説明  |            |                    |
|                   | ②代表受講者による演技と受講者による採点<br>③講師による採点結果の説明及び「減点基準」についての情報交換                                   |            |                    |
| 12                | 実技採点演習   | 同 上        | 13:50~15:20 (1:30) |
|                   | ①インストラクターによる「実技演技」を受講者全員による採点演習  |            |                    |
|                   | ②「採点(減点)結果」の差異について要因分析(グループ討議)<br>③インストラクターによる「演技」の再現と見落とし個所の再確認<br>(再確認の上、採点基準等の斉一化を図る) |            |                    |
| 休 憩               |  |            | 15:20~15:30 (0:10) |
| 13                | 総括質疑   | 全 員        | 15:30~15:50 (0:20) |
| 14                | 閉講式・修了証交付  | 事務局        | 15:50~16:00(0:10)  |

2024年10月10日～11日  
 (一社)全国登録教習機関協会

玉掛け技能講習(初任時)講師技能向上研修カリキュラム

(研修のねらい)

この研修は、登録教習機関における講師経験3年未満の新任(初任)の講師を対象として、技能講習の学科と実技の両科目について、講師として身につけるべき基礎的な素養を習得することを目的とする研修です。

(到達目標)

この研修の受講を通じて、玉掛けに関する基礎的な知識、情報を習得し、併せて、教科目の教え方を体得したうえで、この教科目をスムーズに教えることができること。

| (第1目) 学科研修 |   |   |     |
|------------|---|---|-----|
|            | 研 修 科 目   | 研 修 内 容   | 時 間 |
| 1          | オリエンテーション<br>(学科研修カリキュラムの全体構成、各研修科目のねらいと内容を概説する。)   |   | 20分 |
| 2          | 自己紹介  |   | 20分 |
| 3          | トレーナーのための教え方<br>(学科講習と教育技法)<br>L1 教育技法とは何か<br>L2 教育技法を使った学科講習の実施                              | ① <a href="#">各種教育技法の種類と有効性について解説し、学科講習で採用する場合のメリットを習得する。</a><br>② <a href="#">教育技法を使用して学科講習を行う場合のやり方とその効果について紹介する。</a>   | 60分 |
| 休 憩        |   |   |     |
| 4          | トレーナーのための講習科目別一教え方・レッスンプランの作り方<br>L3 教え方・レッスンプランの作成<br>L4 教え方・レッスンプランの作成演習<br>L5 レッスンプランの実施要領 | ① 講習科目毎の教え方・レッスンプランの作成の目的、意義を理解する。<br>② 講習科目毎の教え方・レッスンプランの作成演習を行う。<br>③ レッスンプランの標準モデルを配布し、その効用を解説する。<br>④ <a href="#">レッスンプランに添って作成された内容の具体的な利用方法を教える。</a><br><a href="#">特に、パワーポイントを利用した教え方について習得する。</a> | 60分 |
| 休 憩        |   |   |     |
| 5          | 玉掛けの専門知識<br>(メーカーの講師による説明と製造工程の紹介等)   | ① 玉掛け用具の新技术・新製品(つり具、荷役機器)を紹介する。<br>② 玉掛け用具の正しい取り扱い、点検・整備、管理方法等を紹介する。  | 90分 |
| 休 憩        |   |   |     |
| 6          | インストラクション技術の向上<br>(受講者による講義の演技)<br><a href="#">説明は行わず、実演に特化</a>                               | ① <a href="#">受講者一人ひとりに1人5分程度の講習の実演をしてもらう。</a><br>② <a href="#">この実演を見ながら、受講者による評価と、</a>  | 60分 |

|                    |                                     |  |     |
|--------------------|-------------------------------------|--|-----|
|                    | <u>する。</u>                          | <u>意見交換を行う。</u><br>③ インストラクターによる講評を行う。   |     |
| <b>休 憩</b>         |                                     |  |     |
| 7                  | 災害事例・関係法令                           | ① 「関係法令」講義時、特に受講者に伝えておきたい法令等を紹介する。<br>② 災害事例研究の必要性及びリスクアセスメントの手法を概説する。   | 90分 |
| 8                  | 質疑応答                                |  | 10分 |
| <b>(第2日目) 実技研修</b> |                                     |  |     |
| 1                  | オリエンテーション<br>(実技研修の目的・研修の進め方を説明する。) |  | 10分 |
| 2                  | 玉掛けの方法<br>(1) 基本作業                  | ① インストラクターによる講習実施前の準備、合図の方法の説明<br>② インストラクターによる基本作業の説明と模範演技。<br>(数種の荷について、玉掛け方法を変えて荷掛け、アイ掛け、巻上げ、ワイヤロープの張り、緩め、巻下げ、アイ外し、荷外しを行う。)<br>③ 各受講者間における情報交換。     | 90分 |
| <b>休 憩</b>         |                                     |  |     |
| 3                  | 玉掛けの方法<br>(2) 応用作業                  | ① インストラクターによる応用作業の模範演技。<br>(質量確認、玉掛用具の選定、荷のつり上げ、定められた経路による運搬、定位置への荷下し)<br>② 受講者による応用作業の演習を行う。<br>③ 各受講者間における情報交換を行う。                                   | 95分 |
| <b>休 憩</b>         |                                     |  |     |
| 4                  | 実技採点の進め方                            | ① 実技試験の採点は、通達により「減点基準」が定められているが、それらの再確認と各登録教習機関における「減点基準」に係る情報交換を行う。   | 60分 |
| <b>休 憩</b>         |                                     |  |     |
| 5                  | 実技採点演習                              | ① インストラクターが故意にミスをした「演技」を行い、受講者全員が全登協編の採点表に基づき採点を実施する。<br>② グループに分かれて減点結果の差異について、その要因等の分析討議をする。<br>③ インストラクターは、故意にミスした「演技」を再現し、見落とし箇所の再確認を行い、基準の斉一化を図る。 | 90分 |
| <b>休 憩</b>         |                                     |  | 10分 |
| 6                  | 総括質疑                                |  | 20分 |
| 7                  | 閉講式・修了証交付                           |  | 10分 |

東京クレーン学校 アクセスマップ



住所：〒124-0013 東京都葛飾区東立石1-3-16  
TEL：03-3696-6009 FAX：03-3694-1670

# 京成立石駅からのご案内

東京クレーン学校まで徒歩約12分(約1キロ)

★改札出て左に行き階段を登り、さらに左に行き階段を下りる

★中国料理「孝蘭」の手前を左折



★セブンイレブンを右折



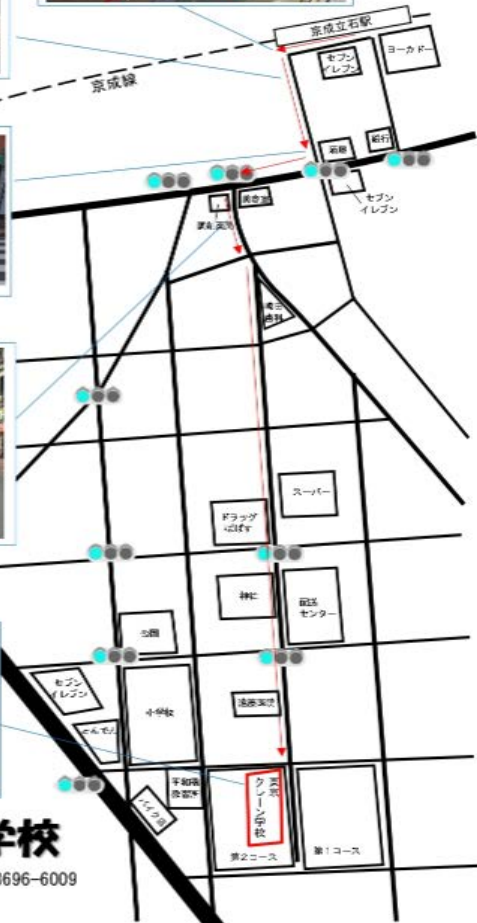
★美容専科「らぼーと」を左折



★右手に東京クレーン学校があります



**東京クレーン学校**  
葛飾区東立石 1-3-16 電話 03-3696-6009



## 主要駅からの路線図



都心からもダイレクトに

|                      |     |                             |     |                        |     |
|----------------------|-----|-----------------------------|-----|------------------------|-----|
| 渋谷より押上まで<br>地下鉄有楽町線  | 30分 | 新宿より新小岩まで<br>JR総武線          | 35分 | 池袋より青砥まで<br>池袋線・有楽町線   | 34分 |
| 品川より新小岩まで<br>JR武蔵野線  | 21分 | 秋葉原より新小岩まで<br>JR総武線         | 15分 | 新橋より本所吾妻橋まで<br>地下鉄有楽町線 | 15分 |
| 北千住より東向島まで<br>京成伊勢野線 | 8分  | 東松戸より青砥まで<br>北総線            | 13分 | 西船橋より新小岩まで<br>JR総武線    | 13分 |
| 東京より新小岩まで<br>JR総武線快速 | 13分 | 横浜より新小岩まで<br>JR総武線快速・横浜有楽町線 | 42分 |                        |     |

各駅より平和橋自動車教習所までの 無料送迎バスはこちら